

日 時 令和7年6月6日(金) 11:00～

会 場 ぎふメディアコスモス みんなのホール
岐阜市司町 40-5

主催：岐阜県文化財保護協会 後援：岐阜県

入場
無料参加自由
定員 180 名

第1部 総 会 11:00～11:50

第2部 講 演 13:00～14:30

演 題 「政治を通して学んだ歴史・文化の大切さ」

講 師 岐阜県議会議員 伊藤 秀光 氏



伊藤秀光氏は大垣市生まれ、昭和48年明治大学工学部卒業。
職業訓練大学で溶接免許を取得し、昭和49年に伊藤配管工業に入社。
平成27年からは伊藤配管工業の代表取締役会長。

38歳のときに政治を志し、大垣市市議会議員、岐阜県議会議員を務められている。日頃から自分磨きに心がけ、東洋哲学なども学ばれている。歴史や文化に造詣が深く、美濃文化総合研究会顧問、当協会の会員でもある。大垣市の歴史副読本作成やサクラの保護、神戸山王祭りの存続、大垣市出身のユダヤ人を迫害から守った樋口季一郎の顕彰や無形民俗文化財の継承などに尽力されている。今回は政治を通して学ばれたこうした歴史や文化の大切さについてお話しいただく。

第3部 公 演 14:45～15:30

しょう
「笙となつかしい昭和の歌」

Chum (小見山はるみ氏・白木敦子氏)



Chum(チャム)の意味は「幼なじみ・仲よし」、二人は岐阜市長良の幼なじみ。

小見山はるみ氏は「日清ちびっこのどじまん」でチャンピオンになり、中学2年のときに歌手としてデビュー。「ドラえもん(旧)」やテレビドラマ「影同心」の主題歌などを歌う。

白木敦子氏は音楽科卒業。結婚後、雅楽を始め、雅楽松風会に所属。2016年頃から知り合いの店で弾き語りを始め、小見山氏を誘って、2020年にChumを結成。高齢者福祉施設や公民館、小学校などで公演。年に2～3回のライブも行っている。互いのよいところを引き出しながら歌うのが持ち味で、二人のハーモニーに観客の手拍子や歌声が加わると会場に一体感が生まれ、みんなと喜べるのが活動の原動力になっている。

今年は昭和100年、なつかしい昭和の歌、ぜひ聴いてください。

◆参加申込：5月30日までに電話(058-214-9112)またはQRコードから申込みください。
(会員の方も申込みをお願いします。)

◆ぎふメディアコスモス・岐阜市役所駐車場をご利用の方は、駐車券を受付までお持ちください。(2時間無料)



参加申込

岐阜県文化財保護協会

岐阜市藪田南 5-14-12
県シンクタンク庁舎内
Tel/Fax 058(214)9112
E-mail hogo@gifu-bunkazai.jp